

先週のマーケット動向(3月6日～3月10日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,298.0	1,329.0	1,293.8	1,324.2	+22.6
JPY/KRW	9.5504	9.7686	9.5331	9.6841	+0.147
KOSPI	2,452.46	2,475.73	2,383.19	2,394.59	▲37.48

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は再び上昇。3日海外時間に3月FOMCでの25bpの金利引き上げ予想が支配的となると、6日のドル/ウォンは1,298.0にてスタート。7日かけて、1,300を挟んで方向感に乏しい展開。しかし8日海外時間にパウエルFRB議長が上院議会証言にて「今後のデータ如何によって金利引上げ速度を速める可能性がある」と発言すると、米金利は中期ゾーンを中心に急騰。市場全体でドル買いが強まる中、ドル/ウォンは上昇した。9日にはパウエルFRB議長が今後の利上げ期待に対し、トーンダウンを図る発言を行ったことで、債券市場は押し目買いが入ったものの、今週末の米雇用統計を前に警戒感が強く、リスク性資産からは資金が抜けていく状況が継続。ウォン売りが止まらない状況が継続した。結局、先週対比22.6ウォン上昇した1,324.2ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。先週末に発生した米地銀SVBの破綻により、米金利は大きく低下しているものの、週末には米当局より預金の全額保護の声明が出ており、連鎖的な影響は最小限にとどめるとの雰囲気になっている。かかる状況下、市場の注目は14日、15日にある米インフレ指標に再び移ろう。結果いかんによっては、3月50bp利上げを見込む動きが加速し、ドル/ウォンはさらに上昇するのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1305 ~ 1335	9.60 ~ 9.90	134.0 ~ 137.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 14日(火) 米 2月 CPI
- 15日(水) 米 2月 小売売上高
米 3月 NY連銀製造業指数
韓 2月 失業率
米 2月 PPI
- 16日(木) 日 1月 鉱工業指数 確報値
日 1月 機械受注
米 2月 住宅着工件数
日 2月 貿易統計
欧 ECB 政策金利発表
- 17日(金) 欧 2月 CPI 確報値
米 3月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
米 2月 鉱工業生産